用語集

■あ行

用語	解説
あいち電子申請・届出システム	申請や届出などの行政手続きの一部を、自宅のパソコンなどからインターネットを通じて、原則 24 時間・365 日利用することができるシステム。
アクセス	交通の便のこと。また、ネットワークや通信回線などを使って他のコンピューターに接続することを指す場合もある。
海部医療圏	海部津島地域の４市２町１村で構成される医療圏域。
あまっ子	自らの判断と責任で、諸課題に取り組むことができる力を備えたあま市のこどもに対する親しみやすい名称。
インフラ	人々の社会生活や産業活動を支える基盤となる施設や設備、サービスの総称。インフラストラクチャー：infrastructure の略。
ウェルビーイング	単なる身体的な健康だけでなく、心身ともに満たされ、自分らしさを実感できる豊かな状態のこと。
オープンデータ	国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネットなどを通じて容易に利用（加工、編集、再配布など）できるよう、①営利目的、非営利目的を問わず二次利用可能なルールが適用されたもの、②機械判読に適したもの、③無償で利用できるもの、といういずれの項目にも該当する形で公開されたデータのこと。

■か行

用語	解説
感染症	環境中（大気、水、土壌、動物（人も含む）など）に存在する病原性の微生物が、人の体内に侵入することで引き起こす疾患。
幹線道路	一般的に、交通の流動が多く、重要度が高い道路のこと。
クーリングシェルター	正式名称を指定暑熱避難施設と言い、気候変動適応法に基づいて、適当な冷房設備を有する等の要件を満たす施設を、誰もが利用できる暑さをしのげる施設として、市町村長が指定した施設のこと。
減災	地震・津波・風水害などの自然災害による被害を、できるだけ少なくしようとする考え方、または取り組みのこと。

公害	事業活動その他の人の活動に伴って生ずる相当範囲にわたる大気の汚染、水質の汚濁、土壌の汚染、騒音、振動、地盤の沈下及び悪臭によって、人の健康又は生活環境に係る被害が生ずること。
工業統計調査	我が国の工業の実態を明らかにし、産業政策、中小企業政策など、国や都道府県などの地方公共団体の行政施策のための基礎資料となる調査。また、我が国の経済統計体系の根幹を成し、経済白書、中小企業白書などの経済分析及び各種の経済指標へデータを提供することを目的としている。
コーディネート	各部と調整し、全体をとりまとめること。
国勢調査	日本に居住する全ての人を対象とする、国の最も基本的な統計調査で、国内の人口や世帯の実態を明らかにするため、５年ごとに行われる。
コミュニティ	共同体意識を持って共同生活を営む一定の地域や、人々の集団のこと。
コミュニティスクール	学校と保護者、地域の人がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながらこどもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み。
コミュニティバス	地域住民の移動手段を確保するために地方自治体などが運行するバス。

■さ行

用語	解説
ジェンダー	「社会的・文化的に形成された性別」のこと。人間の生まれついての生物学的性別に対して、社会通念や慣習の中で作り上げられた「男性像」「女性像」などを指している。
市街化調整区域	都市計画区域のうち、市街化の抑制を図るべき区域のこと。
自主財源比率	歳入総額に対する自主財源（地方公共団体が自主的に収入できる財源）の割合を示す指標。
自主防災組織	自主的な防災活動を実施することを目的として、学区、町内会、自治会などを単位として組織されるもののこと。
指定管理者制度	公の施設の管理・運営を、地方公共団体が指定する法人その他の団体（民間事業者を含む）に行わせる制度のこと。多様化する住民ニーズに効果的・効率的に対応するため、管理・運営にかかる民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上や経費の削減などを図ることを目的としている。

シティプロモーション	市の魅力を発掘し、市内外に発信して広く知ってもらうこと。
市民協働	市民と行政とが対等のパートナーとして、地域課題の解決に向けて共に考え、協力して行動すること。
循環型社会	限りある資源の有効活用やごみの減量化、再資源化が図られ、環境への負荷の少ないライフスタイルを実現する社会。
商業統計調査	国内における商業活動の実態を明らかにするため、日本全国にあるすべての商業事業所(卸売業、小売業)を対象として実施する調査。
新エネルギー	技術的に実用化段階に達しつつあるが、経済性の面から普及が十分でないもので、石油に代わるエネルギーの導入を図るために特に必要なもの。
新型インフルエンザ	季節性インフルエンザと抗原性が大きく異なるインフルエンザであって、一般に国民が免疫を獲得していないことから、全国的かつ急速なまん延により国民の生命および健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。
新型コロナウイルス感染症	新たに発見された新型のコロナウイルス（SARS-CoV-2）による感染症のこと。医学用語で COVID-19 と呼ばれる。
人口フレーム	中・長期の目標となる将来推計人口のこと。
スマート自治体	ＡＩやＲＰＡなどの技術を駆使して、効果的・効率的に行政サービスを提供する自治体のこと。
生活習慣病	食生活や喫煙、飲酒、運動不足など生活習慣との関係が大きい病気のこと。
生態系	食物連鎖などの生物間の相互関係と、生物とそれを取り巻く無機的環境の間の相互関係を総合的に捉えた生物社会のまとまりを示す概念。
性的マイノリティ	性的少数者のこと。レズビアン、ゲイ、バイセクシャル（両性愛）、トランスジェンダー（心と体の性が一致しない人）や、自分を男女どちらとも思わないＸジェンダー、誰にも性的感情が向かないアセクシャルなどを含む。
成年後見制度	認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力の不十分な方は、財産を管理したり、契約を結んだりすることが難しい場合がある。このような判断能力の不十分な方々を保護し、支援する制度。
セーフティー	安全、安全性。

総合型地域スポーツクラブ	人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブのこと。こどもから高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるもの。

■た行

用語	解説
多文化共生	国や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としてともに生きていくこと。
男女共同参画	男女が性別にとらわれることなく社会の構成員としてあらゆる分野に参画すること。
地域学校協働活動	地域住民、保護者、ＰＴＡ、ＮＰＯ、民間企業、団体などの幅広い地域住民などの参画を得て、地域全体でこどもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動。
地域包括ケアシステム	医師の往診や訪問看護、介護を受けながら、住み慣れた地域で最期まで暮らせるようにする体制のこと。
地区計画制度	住民の意向や地域の特性に合わせて、道路や公園の配置、建築物の用途・高さ・デザインなどの独自のルールを定める都市計画制度のこと。
治水	河川の氾濫を防ぎ、運輸・かんがいの便をはかること。
長寿命化	構造物が持つ資産価値としての維持（向上）や便益を確保していくための取り組み。
テレワーク	ＩＣＴを活用して、場所と時間を有効に活用できる柔軟な働き方のことであり、企業などに勤務する被雇用者が行う雇用型テレワーク（在宅勤務、モバイルワークなど）と、個人事業者・小規模事業者などが行う自営型テレワーク（ＳＯＨＯ、在宅ワークなど）に大別される。
都市基盤	道路、公園、水路などの日常生活・都市活動の基盤となる施設のこと。
都市計画税	都市計画法に基づいて行う都市計画事業及び土地区画整理法に基づいて行う土地区画整理事業に要する費用に充てるために市町村が課税する目的税のこと。原則として、市街化区域内の土地・家屋の所有者に課税される。

都市計画道路	都市計画法による一定の手続きを経て計画決定される道路のこと。都市計画決定された路線の区域内では、円滑な施設整備のために一定の建築制限が適用される。愛知県内の都市計画道路は、その機能に応じて、自動車専用道路、主要幹線道路、都市幹線道路、地区幹線道路、補助幹線道路に区分されている。
土地区画整理事業	道路、公園、調整池などの公共施設を整備・改善して、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る事業。

■な行

用語	解説
ニーズ	要求、需要のこと。
二次救急医療	入院や手術を要する症例に対する医療のこと。これに対して、入院や手術を伴わない医療のことを初期救急（一次救急）医療という。
二次利用	情報提供者の提供したデータを基に、情報利用者が何らかの編集・加工・改変などを行い、新たなデータを作成することや、情報提供者の提供したデータの単なる複製や再配布を行うこと。
ネーミングライツ	公共施設やイベントなどに、企業の社名や商品名を「愛称」として付ける権利のこと。
ネットワーク	個々のつながり、網状に広がる様子のこと。
農林業センサス	農林業・農山村の現状と変化を適確に捉え、きめ細かな農林行政を推進するために、５年ごとに農林業を営んでいるすべての農家、林家や法人を対象に農林水産省が実施する調査。

■は行

用語	解説
パートナーシップ	市民、団体、企業、行政機関など、異なる性格を有する組織・集団がそれぞれ固有の機能を提供しながら、対等の立場で協力し合うこと。協力しながら働くという意味。協働。
バリアフリー	障がいのある人や高齢者の生活に不便な障害（道や床の段差など）を取り除こうという考え方のこと。

ビッグデータ	ボリュームが膨大でかつ構造が複雑であるが、そのデータ間の関係性などを分析することで新たな価値を生み出す可能性のあるデータ群のこと。例として、ソーシャルメディア内のテキスト・画像データ、携帯電話・スマートフォンが発信する位置情報、時々刻々と生成されるセンサーデータなどがある。
避難行動要支援者名簿	災害時に自力での避難が困難な高齢者や障がいのある人など、特に支援を必要とする方々をあらかじめ登録しておく名簿。
病児・病後児保育	保護者の就労などのために家庭で保育などができない児童で、病気又は病気の回復期にあり、集団での保育などが困難な児童を一時的に預かる制度。
福祉避難所	高齢者や障がいのある人、妊産婦、乳幼児、慢性疾患を抱える人など、一般的な避難所での生活が困難な「要配慮者」を受け入れるために開設される避難所。
ブラッシュアップ	磨き上げること、現在の状態をさらに良い状態にすること、また、それを目指す行動のこと。「観光資源のブラッシュアップ」とは、地域の観光資源を高付加価値な観光コンテンツとするために、誰もが利用（訪問、消費など）しやすい魅力的な物となるよう、観光資源の分析・改善・整備などを行うことをいう。
プラットフォーム・ビルダー	福祉などの公共サービスの提供者を「サービス・プロバイダー」とするのに対して、そのサービスが展開される場（プラットフォーム）の設定者のこと。
ベッドタウン	大都市の周辺に位置する住宅都市。住民の大部分が大都市に通勤し、夜だけ帰ってくるところからいう。
ボランティア	自発的に自由意思でなんらかの奉仕行為などを行うこと。

■ま行

用語	解説
マイナポータル	マイナンバー制度の導入に併せて新たに構築した、国民一人ひとりがアクセスできるポータルサイトのこと。自己情報表示機能、情報提供等記録表示機能、プッシュ型サービス、ワンストップサービスなどを提供する基盤であり、国民一人ひとりが様々な官民のオンラインサービスを利用できる。

マネジメントサイクル	企業や組織が目標を達成するために「計画・実行・評価・改善」のプロセスを継続的に回し、業務の効率化や品質向上を目指す管理手法のこと。
モビリティサービス	人やモノの移動（モビリティ）をスムーズに支援・最適化するサービスの総称。

■や行

用語	解説
遊休農地	農地法において定義されている用語で、次のいずれかに該当する農地のこと。 ・現に耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地 ・その農業上の利用の程度がその周辺の地域における農地の利用の程度に比し著しく劣っていると認められる農地

■ら行

用語	解説
ライフスタイル	個人の人生観、価値観、習慣、経済状況などが複合的に反映された、その人らしい生き方や生活様式のこと。
ライフステージ	加齢や人生の節目によって変化する個人の生活段階のこと。具体的には、乳幼児期・学童期・青年期、子育て期、中高年期、高齢期が含まれる。
リサイクル	廃物や不要なものを再利用すること。
リスク	危害（損失）が発生する可能性や、その危害の影響の大きさのこと。
ローリング方式	長期計画と現状とに大きな乖離ができることを防ぐために、毎年度、社会状況の変化や事業の実施状況などに対応して、事業の見直しや部分的な修正を行う手法のこと。

■わ行

用語	解説

ワークショップ	学びや、問題解決などのための会議手法の一つ。一般的には、参加者が自発的に作業や発言を行える環境が整った場において、ファシリテーターと呼ばれる司会進行役を中心に、参加者全員が体験するものとして運営される形態を指す。

■A～Z

用語	解説
ＡＩ	Artificial Intelligence（人工知能）の略。
ＤＸ	Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）の略。企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。
ＩＣＴ	Information and Communication Technology（情報通信技術）の略。パソコン、インターネットなど、情報・通信に関する技術の総称。
ＩｏＴ	「モノのインターネット（Internet of Things)」と定義され、自動車や家電、ロボット、施設などあらゆるモノがネットワークに繋がり、情報の収集や相互制御を行う仕組みや概念を指す。
ＮＰＯ	Non-Profit Organization（非営利組織）の略で、医療・福祉、環境、文化・芸術、スポーツ、まちづくり、国際協力・交流、人権・平和、教育、男女共同参画などの分野における非営利活動を行う民間組織のこと。ＮＰＯ法に基づき法人格を取得する組織もある。
ＰＤＣＡサイクル	計画（Plan)、実行（Do)、評価（Check)、改善（Action）のサイクルによる、施策や事業などの立案から評価に至るまでのプロセスのこと。
ＳＤＧｓ	Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。2015 年（平成 27 年）に国連で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された、持続可能でより良い世界を目指すための 17 の国際目標のこと。
ＳＮＳ	Social Networking Service（ソーシャルネットワーキングサービス）の略。インターネット上で個人間の交流を支援するサービスで、参加者は共通の興味、知人などをもとに様々な交流を図ることができる。
Ｓｏｃｉｅｔｙ5.0	人類が歩んできた狩猟社会（1.0)、農耕社会（2.0)、工業社会（3.0)、情報社会（4.0）に続く、５番目の新しい社会の姿のこと。仮想空間と現実空間を融合させて経済発展と社会課題の解決を両立する、日本が目指す未来の人間中心の社会を指す。